

国語科学習指導案

指導事項

- ・場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。(C (1) ウ)
- ・書いたものを読み合い、よいところを見つけて感想を伝え合うこと。

今回の取り組み(挑戦)

- ・物語の最初と最後で何が変わったかとらえさせていく。

1 教材名 お手紙 (読む:物語文) 教育出版

2 目標

様子を思いうかべて読み、登場人物に手紙を書く。

3 学習計画

一次:教師の範読を聞き、内容に興味関心をもったり、感想をもったりする。 ①

題名、作者という学習用語を身につける。

二次:登場人物の人数と、出てきた順番を確かめる。 ①

お話のまとまりについて考える。(時や場所が変化した言葉を見つける。) ①

がまくんとかえるくんがしたことを整理し、話のあらすじをつかむ。 ①

主役を考える、中心人物という学習用語を身につける。 ①

お話のはじめと終わりで、何が変わったか考える。 ①

変わったのはがま君だけなのか考える。 ①

好きな場面について考え、その理由をノートにまとめる。 ①

三次:登場人物に手紙を書く。 ②

手紙を読み合う。 ①

並行読書をする。 ①

4 15時間予定

読み取り 8時間

書く 3時間

伝国(並行読書、漢字・言葉、テスト) 4時間

1時間目 教師の範読を聞き、内容に興味関心をもったり、感想をもったりする。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「すきなばめんをえにかこう」を確認する。	3	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、5分程度でかけるようにする。	
2 本文の範読を聞いた、音読をしたりする。	15	・全文の範読を聞く。 ・範読後の音読は、先生に続いて児童に音読させ	

		<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・範読をする際に、題名、作者という用語を教える。 	
3 だいたいどんなおはなしだったか思い出して発表する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなお話だったか発表させていく。 ・たくさんの子に発表させたいので、短く発言させていく。 ・川ごとに挙手をさせた児童を起立させてもよい。ただし、全員の児童を一度に起立させると、教室の中にざわざわ感が出てくるので、クラスの実態を考慮してほしい。 ・ここが大事を読んで、様子を思いうかべて読む時に、気をつけることを理解する。 	
4 ノートに好きな場面を絵に描き、見せ合う。 ノートに描く ↓ 少人数交流 ↓ 一斉	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに好きな場面を絵で描く。 ・教科書の挿絵を見ながらでもよい。 ・子どもに自由に書かせていく。 ・机間支援をしながら、なぜその場面が好きなのか、教師と対話をしてよい。 ・交流を行う。ペア→起立させノートの見せ合い。 ・一斉での交流。机間支援の際に聞きとった内容ももとに、意図的指名をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな場面をノートに書いている。(ノート・つぶやき)【読む】
5 本時の学習の自己評価をする。	2	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 	

2時間目 登場人物の人数と、出てきた順番を確かめる。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本教材のめあて「とうじょうじんぶつをしらべよう」を確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、5分程度でかけるようにする。 	
2 本文の音読をする。	13	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を音読する。 ・読み終わったあと、登場人物を調べることを予告し、音読する目的意識を持たせていく。 	
3 ノートに登場人物の人数をかく。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・このお話に出てきた人は何人ですか。と発問し、ノートに書かせる。 ・次に、出てきた順にノートに書かせていく。子どもは、 <ul style="list-style-type: none"> ① がまくん ② かえるくん ③ かたつむりくん <p>とノートに書き発言すると予想される。教師は、板書の工夫をし、かたつむりくんを少し離れた場</p>	<p>登場人物についてノートに整理している。(ノート・発言)【読む】</p>

		所を書く。	
3 かたつむりくんを離れた場所を書いたことについて考える。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもから、どうしてそんなに話して書いているのという発言が出たら、いいところに気づいたね、どうしてだと思う、と返す。このことにより作品の流れを意識させることにつながります。子どもに考えてもらい、隣の子と話し合う。 ・子どもからは、 <ul style="list-style-type: none"> ① かたつむり君はちょっとしか出てこない。 ② かたつむり君はお話の後ろの方になってやっと出てくるから ③ 最後の方にかえる君のお手紙をがま君に届けに来たから。 	
5 本時の学習の自己評価をする。	2	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

3時間目 お話のまとまりについて考える。(時や場所が変化した言葉を見つける。)

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「おはなしのまとまりについてかんがえる」とノートに書く。	5	・黒板にめあてを書き、ノートに試写させる。集中して試写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	15	・クラスの皆でしっかりした声で音読させていくことが大切である。歯切れよく読むこと、クラスのみんなが仲間の声を聞きながら、声をそろえて読むことを目指す。	
3 場所や時を表す言葉を見つけて、お話のまとまりについてとらえる。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ p 1 2 0 がまくんは、げんかんのまえに座っていました。(がまくんの家) ・ p 1 2 4 かえるくんは、大いそぎで、いえへかえりました。(かえる君の家) ・ p 1 2 6 それからかえるくんは、がまくんのいえへもどりました。(がまくんの家) (教科書会社の分け方は p 1 2 9 の 3 行目を話の区切りにしていますが、ここを納得させるには、少し難しさがあるので、長いですが一つのまとまりにしました。後は、子どもの実態を考慮して先生の方から提案してもよいと思います。) ・ p 1 3 2 	場所や時を表す言葉を見つけている。(教科書・つぶやき)【読む】

		ながいことまっていた。 (時の経過)	
4 話のまとまりを整理する。	10	・教科書に、話のまとまりの番号をつける。	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

4時間目 がまくんとかえるくんがしたことを整理し、話のあらすじをつかむ。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「がまくんとかえるくんがしたことをはなしあおう」	5	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	15	・クラスの皆でしっかりした声で音読させていくことが大切である。歯切れよく読むこと、クラスのみんなが仲間の声を聞きながら、声をそろえて読むことを目指す。	
3 お話のあらすじをつかむ。	10	がまくんとかえるくんがしたことを考えさせることにより、あらすじをつかませる。 したことを見つけるときには、主語を意識させるとよい。 1の場面 ・二人で手紙をまつ 2の場面 ・かえるくんが手紙を書いてかたつむりくんに頼む。 3の場面 ・がまくんはあきらめておひるね ・二人で手紙をまつ。 4の場面 ・がまくんは手紙をもらってよろこんだ。	お話のあらすじを理解している。 (発言・つぶやき)【読む】
4 本時の学習をノートに整理する・。	10	・上記のことをノートに整理させる。 ノートの使い方は、1ページを2つに分けて見開きで使うと全体が俯瞰できる。	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

5時間目 主役はだれなのか考えるとともに、中心人物という用語を知る。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「主役はだれなのか考え」	5	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、5分程度	

よう		たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。 (上限の時間を決めて個人読み) 	
3 ノートにまとめる。主役だと思う人をノートに書く。	15	<ul style="list-style-type: none"> 主役は誰だと思うかと問いかけ、ノートに書かせる。 主役はどういう人という子どもとのやりとりをするとよい。 <ul style="list-style-type: none"> ① 最初から最後までずっと出てくる。 ② 変わる人(何がと切り返し) ③ お話の中で活躍する人 ④ 主人公 など子どもとのやりとりをした後、これから国語の勉強の時は、中心人物ということを教える。 中心人物は、ここでは結論を出さない。 	主役を考えている。(ノート・つぶやき)【読む】
4 用語について整理し、ノートに書く。	10	<ul style="list-style-type: none"> ① 作者 ② 題名 ③ 登場人物 ④ 中心人物 <p>*このとき、子どもとやりとりをするとともに、先生が正確に説明をして下さい。</p>	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> めあてにもどり、自己評価をさせる。 	

6 時間目・お話のはじめと終わりで、中心人物の何が変わったか考える。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「中心人物を確かめよう」	5	<ul style="list-style-type: none"> 黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。 	
2 本文の音読をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> 全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。 (上限の時間を決めて個人読み) 	
3 物語のはじめと終わりを読み比べ、変わったことを見つける。	20	<p>T:何か変わったことはありますか。</p> <p>まず、時間をとって読み比べをさせる。</p> <p>*その後、交流を入れてとなりの席の子と相談をさせてもよい。</p> <p>*下記のようなやりとり。例として記します。あ</p>	中心人物の変容を見つけている。(話し合い・発言)【読

		<p>くまでも叙述に即して行って下さい。正確な文章を板書することも大切です。</p> <p>C：最初は、がま君は悲しかったけれど、最後はうれしくなっています。</p> <p>T：最初は悲しかったの。</p> <p>C：がま君は今まで一度もお手紙をもらったことがないから。</p> <p>T：悲しいって書いてある？</p> <p>C：かなしいときって書いてある。</p> <p>C：ふしあわせな気持ちって書いてある。</p> <p>T：ふしあわせな・・・ってどんな気持ちなんだろう。</p>	【む】
4 中心人物を確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・中心人物は、がま君だね。 ・かえるくんも・・・という考えが出されたら、それは、次の時間において授業を終了する。 	
6 本時の学習の自己評価をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 	

7 時間目：変わったのはがま君だけなのか考える。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「かわったのはがまくんだけなのかしらべよう」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。 	
2 本文の音読をする。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。 (上限の時間を決めて個人読み) 	
3 物語のはじめと終わりを読み比べ、かえるくんの変わったことを見つける。	20	<p>T：かわったのはがま君だけかな。</p> <p>まず、時間をとって読み比べをさせる。</p> <p>*その後、交流を入れてとなりの席の子と相談をさせてもよい。</p> <p>*下記のようなやりとり。例として記します。今度は叙述をもとにして、自分の考えを発言させます。</p> <p>C：かえる君もかわっているよ。</p> <p>C：二人ともって書いてある。</p> <p>T：どうしてかえる君まで悲しいんだろう。</p> <p>C：仲良しのがま君が悲しいから、自分も悲しくなったと思う。</p> <p>C：かえる君がやさしいからがま君の気持ちがわ</p>	かえる君の変容について考えている。(話し合い・つぶやき)【読む】

		かる。 T：そうすると、中心人物は、がま君だけではないね。 *読みのバージョンアップを期待します。	
4 中心人物を確認する。	5	・この物語では、中心人物が2人いることを確認する。	
6 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

8時間目：好きな場面について考え、その理由をノートにまとめる。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「すきなばめんをきめよう」	5	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	10	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。 (上限の時間を決めて個人読み)	
3 好きな場面を決めて、その理由を考える。	20	・好きな場面を決めて、その理由を考えノートに書く。 ・交流をし、自分の考えとの類似点・相違点について気づく。	好きな場面を選び、理由を考えている。(ノート・発言・つぶやき)【読む】
4 好きな場面を音読する。	5	・音読するときは、その場面をどのように読みたいのか考えさせる。	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	・めあてにもどり、自己評価をさせる。	

9時間目：登場人物に手紙を書く。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて 「とうじょうじんぶつにてがみをかこう」	5	・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。	
2 本文の音読をする。	10	・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。	

		(上限の時間を決めて個人読み)	
3 だれに書くのか決める。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の確認をする。 ・3人の中で誰に書くのか決める。 ・その人にした理由を考える。 	
4 手紙を書く。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・てがみを書く 	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 	

*実態に合わせて2時間使って手紙を書いてもよい。

10時間目：手紙を読み合う。

学習活動	時間	指導上の留意点	評価
1 本時のめあて「手紙をよみあおう」	5	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板にめあてを書き、ノートに視写させる。集中して視写する習慣が身に付くように、5分程度たったら、音読を開始することを予告しておく。 	
2 自分が書いた手紙を音読して、推敲する。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・全文を通読させる。読むときに、歯切れ良く音読することが、内容を理解する上で基礎となることを伝える。 (上限の時間を決めて個人読み)	
3 友達と手紙を交換して読み合う。	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア ・自由に 	
4 友達の手紙を読ませてもらった感想をまとめる。	15	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートに手紙を読ませてもらった感想をまとめる。 ・読ませてもらった感想を交流する。 ・ペア→自由に→一斉 	
5 本時の学習の自己評価をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてにもどり、自己評価をさせる。 	